



最も汽水域で視られるカレイの仲間。稀に純淡水域にまで侵入する。北潟湖産 全長：約20cm

カレイ科 ヌマガレイ属

【全長】40cm

ヌマガレイ

学名：*Platichthys stellatus*

分布域

島根県・東京湾以北の本州と北海道に分布する。

生息域

沿岸部の浅い所～河口部の砂底～砂泥底を好む。



6月頃に汽水域で幼魚が大量に見られる。

両眼は体の左側にあり、カレイの仲間では変わり者。背鰭・臀鰭・尾鰭には明瞭な黒色の帯状斑があり特徴的。有眼側の模様には個体差が若干視られる。主に沿岸部の砂底・砂礫底～泥底に生息する。河口部や汽水湖にも侵入する。純淡水域と思われる場所でも生息を確認している。食性は動物食性で甲殻類・底生動物・貝類・ウニ類などを食べる。産卵期は2～3月頃。沿岸部や河口域で産卵する。

水槽での飼育は可能。丈夫で飼育し易い。若魚は海水比10～30%の汽水で飼育し、成長するにつれ海水に近づけてやる。餌は幼魚期は冷凍赤虫を与え、成長するにつれ、活きたゴカイやエビ類を食べる。

在来種

周縁魚

汽水魚

※ 本種の分布域は広く、日本沿岸から北米までの北太平洋沿岸に分布する。北米側のものは日本のものとは逆に、両眼が体の右側にある個体が半数(50%)ほどいるそうです。